



通信

新宮町子ども家庭センター

V P D を「存じ」ですか？

予防接種は計画的に

■問い合わせ先

町子ども家庭センター「はぐ通信」

(シーオーレ新宮内)

☎ 963-2995 (直)

予防接種は何のためにする？

赤ちゃんが生まれると、2か月目から予防接種が始まります。乳幼児期は免疫力が大人と比べると未発達であり、さまざまな感染症にかかりやすい時期です。中には深刻な合併症や後遺症を残したり、命に関わったりする感染症もあります。予防接種はそのような感染症にかからない、感染したとしても重症になることを防ぐことができます。

また、接種した本人が病気にかかることを防ぐだけでなく、きょうだいや友だち、お腹の中にいる赤ちゃんなど周りの人への感染を防ぎ、その病気が流行することを防ぐことにも繋がります。

予防できる病気とは？

ワクチンで防げる病気のことを、V (Vaccine ワクチン)、P (Preventable 防げる)、D (Diseases 病気) 『VPD』といいます。たとえば麻疹も VPD のひとつです。感染力が極めて高く近年国内で急増していて、県内でも報告件数が増えています。麻疹の症状は合併症がなければ3〜4日で回復に向かいますが、免疫低下によりしばらくは他の感染症にかかると重症化しやすくなります。MR ワクチンで予防することが可能で、2回の接種で99%以上の人が確実な免疫を得ることができます。

かかる治療が難しく、後遺症が残ったり、命に関わったりする病気に対してワクチンは開発されます。子どもたちが感染症に脅かされず健やかに育っていきけるよう『VPD (ワクチンで防げる病気) は予防する』ことが大切です。

ワクチンで防げる主な病気

B型肝炎、ロタウイルス感染症 (胃腸炎)、肺炎球菌感染症、ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ、ヒブ感染症、結核、ヒトパピローマウイルス感染症、麻疹 (はしか)、風しん、RSウイルス感染症 (令和8年度から妊婦に対し定期接種)、水痘 (みずぼうそう)、日本脳炎、髄膜炎菌感染症※、A型肝炎※、おたふくかぜ※、インフルエンザ※

※は任意接種

ワクチンは接種時期を遅らせずに、忘れずに接種することが重要です。接種可能な年齢になったら、体調とスケジュールを確認し、なるべく早めに接種するようにしましょう。



接種を忘れやすいワクチン

ワクチンの種類	接種年齢
MR 2期	保育園・幼稚園の年長さんの1年 (3月31日まで)
日本脳炎 2期	9歳〜12歳 (13歳の誕生日前日まで)
ジフテリアと破傷風の2種混合ワクチン (3種混合・4種混合・5種混合の第2期)	11歳、12歳 (13歳の誕生日前日まで)
子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン)	小6〜高1相当 (3月31日まで) ※女子のみ

※定期接種の期間を過ぎると全額自己負担になります。